

講演会

「おおきなかぶ」の変身

—読み聞かせの定番がネットで“遊び”に変わるまで—



V. Калрик 絵『おおきなかぶ・てぶくろ』（1916年）より

ロシア昔話「おおきなかぶ」は、元はどんなお話だったのでしょうか？ロシアで出版された絵本の挿絵には、どんなバリエーションがあるのでしょうか？絵本で定着したイメージは、その後、どのように再利用されるようになったのでしょうか？

豊富な画像とともに「おおきなかぶ」の変身をたどります。読み聞かせの定番が見せる思いがけない姿を、ぜひご覧ください。

【日時】 2026年2月20日（金）13時30分～15時

無料

【場所】 神戸市立中央図書館 2号館3階 閲覧室2

【講師】 藤原潤子 氏（神戸市外国語大学准教授・かけはし出版代表）

【定員】 60人（事前申込制・先着順）

【対象】 中学生以上

【申込】 神戸市イベントサイト「おでかけKOBE」より

1月23日（金）10時～2月18日（水）18時 まで

※窓口・電話・ハガキ等での受付は行いません。



▲申込はこちら

【講師プロフィール】

藤原潤子 氏（神戸市外国語大学准教授・かけはし出版代表）

ロシアをフィールドとして文化人類学研究を行いつつ、絵本の翻訳にも携わる。著書に『呪われたナターシャ：現代ロシアにおける呪術の民族誌』（人文書院、2010年）、『水・雪・氷のフォークロア：北の人々の伝承世界』（勉誠出版、2014年、共著）、訳書にアンナ・アニーシモヴァ文、ユーリヤ・シードネヴァ絵『わたしのぞうさん』（かけはし出版、2025年）など。



【講座の内容に関する問い合わせ】

TEL:078-371-3351

FAX:078-371-3382

神戸市立中央図書館

市民サービスライン（子供サービス担当）

【申込に関する問い合わせ】

TEL:0570-083-330 または 078-333-3330

FAX:078-333-3314

神戸市お問い合わせセンター（年中無休 8時～21時）

メールフォーム⇒

